

広報

No. 153



昭和61年3月15日  
発行・編集 国見町企画課

お  
も  
な  
内  
容

緑の羽根募金運動	2
佐久間正敏君 } 市長賞に	3
古溝真奈美ちゃん }	
大福伝講が15年ぶりに復活	4
ふるさとの文化財	5
おしらせ	6~7
公民館だより	8~9
わだい	10

'86

3月

“マンサク”

早春に黄色の花を咲かせ、山野に春の訪れを感じさせてくれます。(石母田で)



# あなたの胸に緑の羽根を

## 街や山に緑を増やそう



### 緑の羽根募金運動

#### 森林は災害を防ぎ

#### 水をはぐくむ

「緑」を代表する森林。その機能が十分に果たされていない地域で発生する洪水や土砂崩れなどの災害は、日ごろ忘れがちな緑の大切な役割を改めてわたしたちに教えてくれます。また、真夏の太陽の下でも、森林は絶えず清水を流し出してくれます。強風や飛砂から農地や住宅を守ってくれます。

ところで、最近では「森林浴」という言葉がよく耳にするようになりました。これは、満ちあふれた緑の中で大きく深呼吸し、日ごろのストレスを解消し、精神をリフレッシュする——といったことです。

このように、緑あふれる野山は、わたしたちの暮らしにとって欠くことのできないものなのです。

放っておけない「緑」の現状  
日本では、第二次大戦後、荒廃した国土の復興のために「緑化の推進」が叫ばれ、国土の緑

### 緑の羽根は 緑づくりへの協力のあかし

づくりの一大国民運動として緑の羽根募金がスタートし、以来、さまざまな緑化運動が繰り広げられてきました。しかし、その一方、日本が高度成長を遂げる中で、都市化の拡大や国土の乱開発などは、大切な「緑資源」の重要さを弱めてしまいました。このままの状態を放っておけば、緑はますます失われ、後で気づいてからではすでに手遅れ——といったことにならないとも限りません。

#### 緑化に生かされた

七億七千万円

ところで、昭和二十五年には二千二百万円だった募金額も年

このような緑を取り巻く現状を踏まえ、わたしたちは以前にも増して強力な「緑づくり運動」を幅広く展開していきたいものなのです。



「緑の羽根」で親しまれている緑化募金運動は、皆さんの善意で集められたお金を、国や地域の緑化の資金として役立たせるものです。募金活動は、地域の小・中・高校生、婦人会、緑の少年団などの皆さんたちが中心となって、ボランティアで繰り広げられます。街頭や広場で募金箱を手にした人たちを見かけたら、ぜひあなたの善意をお分けてください。代わりにあなたの胸に、豊かな緑づくりへの協力のあかしとして「緑の羽根」がプレゼントされます。



この貴重な浄財は、学校、住宅団地、工場、社会福祉施設などの環境緑化のほか、水源林の造成などの費用として還元されています。日ごろ目にする街路樹や公園の緑地のような身近な所から、水源林のようにわたしたちが気づきにくい所まで着実にその成果は形となって表れ、わたしたちの生活環境の保全に役立てられています。

「緑の羽根」募金運動に積極的に協力して、わたしたちの、そして次の世代の人々のためにも緑をもっともっと増やし、残していきたいのです。

# 佐久間正敏君 古溝真奈美ちゃん 二位市長賞に 五位市長賞に



▲2位市長賞に輝いた佐久間正敏君



▲5位市長賞の古溝真奈美ちゃん

三月十五日から十七日までの三日間、フランスのデザイン市にあるブルゴーニュ宮殿で行われた国際美術大賞フランス展(学童の部)に出展した佐久間正敏君(藤田小五年)の(電筆)が二位市長賞に、また古溝真奈美ちゃん(小坂小四年)の「掃除当番」が五位市長賞にそれぞれ輝きました。

このフランス展には、日本から八千六百三十四点が展覧され、そのうち千六百七十七点が入賞しました。

佐久間君は、小さな画家の家(石原晃雲主幹)で絵の指導を

受けて二年半。第十六回ユネスコ世界児童画展の特賞に次ぐ快挙で、とてもうれいしです。これからも練習に励みます」と喜びを語っていました。

また、蓬田知展君(県北中一年)、山崎敦君(藤田小六年)、遠藤崇君(藤田小四年)、遠藤晃子ちゃん(小坂小二年)、吉田久俊君(藤田小二年)、遠藤祥史君(藤田小二年)、佐藤稚子ちゃん(森江野小二年)、八島隆記君(藤田小一年)、古溝孝君(小坂小一年)、佐藤光克君(森江野保育所・五歳)もそれぞれ入賞しました。

安定した制度の運営、世代間の公平を図るため、また、加入者の皆さんがお年寄になったときに、保険料の引き上げにご理解をお願いします。

なお、一年分の保険料を四月中にまとめて納入すれば、割引(五分五厘の利率による複利現価法)され、納め忘れということもなくなりますので、ぜひご利用ください。



## 保険料が変わります

### 四月から七千円に

国民年金の保険料が、今年四月から、月額七千円になりました。(付加保険料は従来どおり四百円)

保険料をそのまま据え置きですと、後の若い世代の方々に多くの負担がかかることになりま

す。このため、保険料の急激な負担とならないように段階的に引き上げられることになっていきます。

## 歳時記

### たんぽぽ

八十九、セイヨウタンポポは四万六千二百七十九でした。百年ほど間にセイヨウタンポポがこんなに増えたのは、セイヨウタンポポの種子が軽く、しかも単為生殖(オシベとメシベの一人生活)なので、速くまで一人旅をして繁殖できるためだそうです。

見分け方はどうと、在来タンポポは、花をささえている総苞片(ガクの部分)が上をむいているのに対し、セイヨウタンポポは下にそりかえっています。

さて、春といえはタンポポと同時に春の小川の歌を連想します。

四月は「河川美化月間」です。川をよこさないようにするだけでなく、地域協力しましょう。



幼い日、春の野で、タンポポの花を摘んで遊んだり、白い綿毛を吹いてうらないうし、思い出をお持ちの方も多いことでしょう。

タンポポは大きく分けると昔からあった在来種と、明治時代に牧草と共に渡来し、北海道から広がったと言われるセイヨウタンポポとがあまりに遊んだタンポポはどっちだったのでしょうか。

(自然環境保全基礎調査)の結果によると、現在は、セイヨウタンポポのほうが多く、分布も沖縄まで広がっていることがわかります。

この調査は、全国を一キロ四方の網目(メッシュ)に分けてボランティアの人たちが、その網目の中で、調査対象の生物を見たかどうかを報告してその結果をまとめたものです。調査メッシュ九万六千二百六のうちの、在来タンポポが見られたのは、三万八千三百

# おふくでんこう 大福伝講が十五年ぶりに復活

## 徳江南部地区

安政二年（一八五五）から始まったといわれる徳江南部地区の大福伝講が、十五年ぶりに復活し、三月四日と五日の二日間にわたり、徳江南部公民館で、地区の男衆六十人が参加して盛大に行われました。

この講も開かれずにきました。このため、徳江南部公民館長の村上公月さんはじめ、蓬田正敏さん（大福伝講大会長）らが、古い伝統行事を再現させようと呼びかけ、地域ぐるみの運動が実り、今回の復活となったものです。

この大福伝講は、男だけの講で、旧の正月二十四日から二十五日にかけて、新築した家や改築した家などを会場に毎年行われてきましたが、世話をしてきた青年会が十五年ほど前に解散し、

三月四日の夕方五時、公民館に集合した人たちは、全員で神棚に礼拝をささげ、そのあと、悪魔払いの行事を行い、今年一年間の無病息災、かいこ大当り

を祈願し、魔よけをかねたなおらいに入りました。

三月五日は、早朝六時から、公民館前で、持ちよった米を千本杵でつきあげました。モチつきには、小学生らも入り、小雪のちらつく肌寒い天候でしたが、元気のいいかけ声をあげながらつきあげ、寒さを吹き飛ばしていました。つきあげたモチは一俵で、さっそくきなこモチやあんこモチなどにして、近所の人や子供たちに配られました。また、講に参加した人たちは、ハギの木を削って作った手づくり

のハシでモチを食べていました。なお、このモチつきの模様は福島中央テレビが取材し、三月五日夕方六時に放映されました。



▲にぎやかに歓談 (3%)



▲子供たちもモチつきを手伝う (3%)



▲つきたてのモチ子供たちにサービス (3%)

# 身近にある野草薬草

(21)

## ジャノヒゲ



道路の脇や、垣根、石垣などの縁などにクッション状の群落をつくって生えています。庭にも、踏み石の縁取りや、グラウンドカバー（地覆い）として、よく植えられています。

実は、直径五ミリほどの藍色で、つやつやして美しいものです。ただ葉の陰にかくれているので、目につきにくいものです。株を掘り上げると、根にサツマイモ形の子ぶがあります。この子ぶを薬用に利用します。庭の隅でも、鉢でも、植えておけば株分かれでどんどん殖えます。

利用するときには、株分けの要領で、僅かの株を植え戻しておくようにします。ビャノヒゲには数種類ありますが、特に区

別することなく使えます。種類によっては、林の中に生えています。

▼薬用部分・効き目▲  
根を煎じて飲みます。消炎薬、滋養、強壯薬、せき止め、去痰、利尿薬にします。

▼採取時期▲  
七～八月に根を掘り、ふくらんだ部分だけを用います。

▼見つけ方▲  
林の中にも明るい畑の縁にも自生します。また、庭園の縁ど

りとして栽培されています。

▼処理の仕方▲  
掘りとった根の肥大した部分だけを水洗いし、日向で乾燥し

ます。

(身近な薬草から)

# ふるさとの文化財

24

## 史跡 泉田小学校跡

菊池利雄

しかし泉田小学校から遠い村々からの、幼ない児童たちの通学は容易でなく、それに伴う就学の不振や県の強力な指導もあって、各村で小学校開設の動きが生まれ、明治六年の十月には東大窪支校（現東大窪小学校）が設立され、同年十二月には藤田小学校、明治八年四月には小坂小学校（小坂、内谷、次いで十二月には石母田小学校と、つぎつぎに分離独立していった。）

明治十六年（一八八三）組戸長役場制が発足して、行政区轄の変更が行われ内谷・鳥取村は藤田村外十一ヶ村戸長役場の管轄下に置かれて、小坂小学校から内谷小学校（明治十七年設立）が分離した。小坂、泉田

明治五年（一八七二）七月、明治新政府は欧米の先進文明国に範をとり、国民教育の普及をめぐして「学制」を發布、近代的な学校教育の実施にのりだした。  
 「邑に二不学ノ戸ナク、家二不学ノ人ナカラシメ」事ヲ期ス。  
 ……と、まず全国的に小学校が開設され、国民には子弟の就学を義務づけた。

国見の地域で最初に開設をみた小学校は、泉田村外十三ヶ村（北半田、南半田、小坂、内谷、山崎、藤田、母田、東大窪、栗原、貞田、光明寺、西大窪）各村を学区として、泉田村の玉川山泉秀寺を仮校舎とした泉田小学校で、明治六年の七月一日（小坂校舎まで七月二十日、小坂小学校の開校は七月廿五日）に正式に開校とされている。（「伊豆郡小坂村誌」）

明治二十年には小坂小学校は北半田小学校に統合をみていることから、泉田小学校は組戸長役場制への移行時に、小坂小学校に合併し、校の道をたどったと考えられるが、史料を欠き詳しくは今後の調査検討に待たない。（「百年のあゆみ」）



泉田小学校の仮校舎

舎となった本堂は明治二十年五月、火災にかかり庫裡とともに焼失したが、総構造の山門は災禍を免がれて現存し、開校当時の姿を今に伝えている。  
 明治十九年に藤田小学校（現藤田小学校）に合併した森山・徳江小学校（現徳江小学校）の校舎も含めて、国見町内の小学校はなんらかの形で、この泉田小学校の流れをくみ、それより分離発展をとげたものであり、今この地に立って過去に思いをめぐらすとき、国見における学校教育発祥の地として、感無量なものをおぼえる。  
 参考文献  
 「国見町史」  
 「百年のあゆみ」小坂小学校

## おたくのストーブをもう一度お調べください!!

サンヨー石油ファンヒーター C.F.H-I.S.221F型を使っている家庭で、一酸化炭素中毒による事故が起きています。  
 三洋電機では、この石油ファンヒーターを使用している方を捜し、回収、無料交換をしております。  
 まだ全国で二千四百五十台が未回収ですので、交換していない方は、至急次のところまでお申し出ください。  
 三洋電機サービスマニュアル社 西四六一六三四五  
 ○対象機種



品番は点線部分に表示してあります。

## 母子福祉資金 世帯更生資金貸付制度

○母子福祉資金  
 母子家庭などの方々に対して貸付を行い、経済的自立を助け、生活意欲の助長を図り、児童の福祉を増進するため貸付ける制度です。  
 ・種類  
 事業開始資金、技能習得資金、修業資金、就職支度資金、生活資金、住宅資金、修学資金、修学支度資金など

○世帯更正資金  
 低所得世帯や身体障害者世帯に対して貸付ける制度です。  
 ・種類  
 生業費、支度費、技能修得費、生活資金、住宅資金、修学資金、修学支度資金、療養資金など、  
 ※貸付額、手続きなど詳しいことは、役場住民課福祉係かお近くの民生委員までおたずねください。



### 朗読奉仕者養成教室 生徒募集について



福島県点字図書館では、昭和六十一年度朗読奉仕者養成教室生徒を次のとおり募集しています。

- 一 募集人員 十名
- 二 募集期間 三月十五日～三月三十一日 (当日消印有効)
- 三 募集条件
  - (一) 学生、生徒以外の者
  - (二) 基礎指導 五月から七月までの三月間 実技指導 八月から翌年の一月まで (月二回)

午後一時三十分から三時三十分までの間、点字図書館で受講できる者。

四 募集要領

住所、氏名、年齢、職業、電話番号及び郵便番号を明記した文書(ハガキ可)をもって申し込むものとします。

六 受講生の選考  
応募した者について、音声テープを実施し、合格した者を、当該教室の受講生とします。

六 受講生の条件  
(一) 受講に要する費用は、一切無料ですが、交通費は自己負担となります。

(二) 養成教室を修了した者は、朗読奉仕者として、点字図書館に登録し、録音図書製作などに協力するようになります。

**明るい選挙啓発標語及びコピー作品募集について**

福島県選挙管理委員会では、本行行われる参議院議員通常選挙に際し、明るい選挙・投票総参加を呼びかける標語及びびざん新なコピー(広告の文案)作品を次のとおり募集しています。

入選作品には、賞状及び副賞を贈呈いたしますので、奮って応募ください。

一 募集期間

昭和六十一年四月一日～四月三十日(当日消印有効)

二 提出先  
〒900 福島市杉妻町二番一六号  
福島県選挙管理委員会

三 応募上の注意

(一) 官製ハガキを使用してください。一人でも何枚応募しても構いません。

(二) ハガキ一枚で、五時まで応募できます。

(三) 応募した作品はお返ししません。入選作品は、選挙のためであれば自由に使用できるものとします。

(四) ハガキには住所・氏名(ふりがな)・生年月日を忘れずに書いてください。

#### 四 発表

昭和六十一年五月下旬

### 始発列車三本が増発

藤田駅

国鉄藤田駅発の上り列車三本が増発され、三月三日から増発されました。いずれも藤田始発の福島終着列車で、九時二十五分発と十一時五十三分発、十四時五十分発の三本。

みなさんのご利用をよろしくお願ひします。

## 四月は地価公示普及月間

毎年四月は  
地価公示普及月間です

### 地価公示は役場で自由に関覧できます

今年も四月一日に国土庁から昭和六十一年の地価公示が発表されます。地価公示は、都市計画区域内の各地域で標準的な使用方をしている土地——これを標準地といいます——を選んでその標準地の適正な土地価格を公表して、土地を売買する際の土地価格の目安にしていたたけくものです。

また、国、地方公共団体などが公共用地などを買う場合の買取額の基礎とされたり、都道府県知事が国土利用計画法に基づいて土地売買の届け出があった場合の取引価格の審査をするときも基準とされます。

### 無料相談会へお気軽におでかけください

地価公示普及月間(四月一日～四月三十日)の協力事業として全国一斉に開催されます。日時、場所などは左記の通りです。

#### 記

一 日時 昭和六十一年四月二日(水) 午前十時～十二時 午後一時～三時

二 場所 福島市役所三階建設部会議室

### 標準地は身近な所にあります

標準地は、住宅地域ではほぼ一平方キロメートルに一地点、商業地域は〇・三平方キロメートルに一地点の割合で選ばれているので、平均すればどこからでも五百メートル以内という近しい所にあることとなります。

三 相談員 福島市役所三階建設部会議室 社団法人日本不動産鑑定協会 福島県部会会員 不動産鑑定士 四 相談内容 土地の価格に関すること全般

# 善意の窓

町社会福祉協議会に

◆吉田邦彦さん(第二)から  
一万円―故正一さんのご遺志

◆武田龍尾さん(第三)から  
三万円

◆武田龍尾さん(第三)から  
二万円―故ヨシノさんのご遺志

◆国見ライオンズクラブ(吉田  
利明会長)より家庭奉仕員へ  
カーデイガン二着

## 「国の進学ローン」 のご案内

六十一年春に進学されるお子  
様をお持ちの方にお勧めします。  
ご利用いただける方

## 戸籍の窓口

(2月受付分)

出生おめでとうございます

子	の	名	保護	者	部	落
二	(ゆ	う	じ)	齋藤	幸	田
和	(とも	かず)	引地	俊一	山	田
智	(ま	み	こ)	羽根	第	小
実	(とも	ひと)	村上	登夫	第	前
智	(しゅ	ん	すけ)	渡部	俊	十
俊	(ゆ	た	か)	菊地	隆	八
裕	(ゆ	う	じ)	佐々	木	五
治	(やす	のり)	菊地	勝彦	道	原
徳	(とし	はる)	本多	孝弘	一	北
晴	(やす	こ)	富塚	康一	雄	城
子	(たか	ひろ)	中野	富一	士	根
大	(あ	か	か)	舟山	敏	山
花	(あ	か)	藤阪	敏幸	剛	根
乃	(やす	き)	児島			
由	(ゆ	き)				

ご結婚おめでとうございます

氏	名	部	落
佐	元	日	九
野	久	江	市
川	善	昭	町
原	房	子	市
田	喜	行	館
上	泰	子	崎
邊	恭	子	山
渡			道
			北
			海

おくやみ申し上げます

氏	名	年	部	落
澤	幸	83	明	寺
波	隆	74	第	九
田	ヨ	77	第	三
林	マ	79	第	町
内	ツ	81	本	東
田	イ	81	内	一
	正	60	第	

おくやみ申し上げます

人	男	5,813人 (+4)	転	入	15人
	女	6,226人 (±0)	転	出	19人
口	計	12,039人 (+4)	出	生	14人
世帯	数	2,874戸 (-2)	死	亡	6人

## 人口と世帯

3月1日現在(前月比)2月中のうごき

人	男	5,813人 (+4)	転	入	15人
	女	6,226人 (±0)	転	出	19人
口	計	12,039人 (+4)	出	生	14人
世帯	数	2,874戸 (-2)	死	亡	6人

高校・短大・大学・専修学校  
などに進学する生徒をお持ち  
の父兄。

○融資額  
一進学あたり五十万円以内

○融資期間  
進学する学校の修業年限以内  
(最長四年)

○利率  
年七・〇%

○保証  
財団法人進学資金融資保証基  
金または保証人(一名以上)

○返済方法  
毎月元利均等返済。ご希望に  
よりボーナス(一月・七月)  
増額返済も併用できます。

○取扱窓口  
国民金融公庫、銀行、信託銀  
行、相互銀行、信用金庫、信  
用組合、労働金庫、農協、漁

協  
※詳しいことは左記にお問い合わせ  
の父兄。

国民金融公庫福島支店 融資  
相談係 千90福島市大町一  
番一六号 電三三―二三四一

昭和六十一年も春を迎えま  
した。  
三月、四月ともなると、暖か  
い日ざしの訪れとともに、転勤  
就職・入学などのシーズンを迎  
えます。  
ところで、この転勤などに必  
然的に伴うのが引越しです。



そろそろ転勤のシーズンです  
住居移転の際は、各機関へ  
の届け出も忘れずに!!

これら慌ただしい引越しの中  
で忘れがちなのが各機関への住  
居移転届けです。

役場住民課へはもちろんのこと  
と、水道課や郵便局、それに電  
力会社、ガス会社、電話局、ま  
たテレビをお持ちの方はNHK  
へ(電話またはハガキでもけ  
こります)の連絡が必要です。  
このようなことはあとでなど  
と考え、引越してしまつと、つ  
いとおくくうになつてしま  
うものです。

どうぞ住居移転の際は、各機  
関への連絡も忘れずにご協力く  
ださい。

なお、NHKの連絡先は左の  
とおりです。  
千90 福島市北五老内町一―五  
NHK福島放送局  
三五―二九一

## 3月 弥生(やよい) 4月 卯月(うづき)

18日(火)	藤田幼稚園修了式	5日(土)	藤田保育所入所式
	森江野幼稚園修了式	7日(月)	各小学校入学式
21日(金)	春分の日		県北中学校入学式
22日(土)	各小学校卒業式	8日(火)	藤田幼稚園入園式
26日(水)	藤田保育所修了式		森江野幼稚園入園式

## 心配ごと相談日

場所: 役場二階相談室 (東側入口からお入り下さい)  
時間: 9時―12時  
ごまったことや、相談ごとがありましたら、  
お気軽にご相談下さい。秘密は絶対に守ります。  
〔相談員〕  
3月25日(火) 樋口 弘・村上ハツヨ  
4月5日(土) 菊地 平助・阿部 キク  
4月15日(火) 吉田 正雄・玉手マルヨ

# 公民館だより

国見町公民館

☎85-2676

(有) 4156

## おれたちの祭り

～ グラフティードリーム ～



▲「すまん、許してくれ」(劇から)



▲フィナーレを飾ったバンド



▲「わあー、うまい うまい!!」(コントから)



▲この一年間の思い出を胸に……

青年学級の「おれたちの祭り」は、二月二十三日町公民館で開催され、町民の方や近隣各町の青年学級生らが訪れました。

この祭り、一年間の活動の総まとめで、昨年の十一月より準備をすすめていたものです。学級生は、創作的、コント、生バンドに大熱演。お客さん参加のゲームもあり、にぎわいました。

最後に、サークルほけっとの皆さんから「いつまでも友情の火を大切にしてください」とあいさつがあり、別れを惜しみながらキャンドルサービスを行いました。

二月九日、少年仲間づくり教室の閉級式が教室生とその父兄が出席して行われました。

この一年、キャンプやゲームなどを通して、仲間づくりの大切さを学んだ教室生に修了証が手渡されました。

このあと、お別れパーティーが開かれ、親子一緒にゲームを楽しみました。

## 少年仲間づくり教室 閉級式

## 仲間づくり教室での思い出

藤田小五年 穴戸美智子



私は、この教室に入って、いろいろなことを経験することや友達ができる楽しさを知りました。楽しいような行事がたくさんあるという理由で入った私でした。

一回目は「ゲームで仲間になろう」でした。私は大の友達好き。私と「幼稚な遊びを指導者の人たちといっしょにワイワイやって本当に友達なんかできるのかな」と悪口を言っていました。知らない人ばかりの中にいると、こわいような感じがして、おちつかなくなってきたりもしました。

「少年仲間づくり」なんて名ばかりで何の役にも立たないんじゃないかなあなんて考えたりもしました。

仲間づくりのりみよは、学年関係なく仲良くいろいろなことが出来るということ、友達ができる喜びが味わえることだと思っています。私は、またこの教室に入りたいと思います。

ました。でも何回か参加しているうちに、いつの間にか友達ができる自分も仲間づくりになりました。その時の気持ちといえば、本当に、うれしさと教室への感謝でいっぱいでした。人間っていうのは、つき合っていくと自然に仲良くなれるものなんだなあと思いました。一番覚えておくるのは、キャンプです。あの時も「このキャンプで何人の友達ができるのかな」と思っていました。そこで計画を立てたのが、なんでも積極的に取りくもうということです。それは、大成功でたかさんの友達できました。これには、自分でもびっくり。それからというものの調子になって、みんなよりも目立たないと気がすまない性格になりました。



### 成人学級

#### 閉講式終わる

昭和六十年度の成人学級は、去る二月二十六日で本年度のすべての学習を終え、閉講いたしました。

学級生は二十八名ですが、毎回二十名程の出席があり、楽しく、そして有意義な学習などが実施されました。

次年度への反省要望として、より多くの方々の入級を念願しております。



▲最後の学習にも熱が入ります

### 高齢者教室で閉講式

昭和六十年度の高齢者教室は四月二十六日に閉講し、年間十

五回の学習、研修旅行などを実施しました。

二月二十八日に最後の学習として、佐藤利雄先生から「しあわせに生き抜くために」というテーマのもとに締めくくりの学習を行い、その後高齢者教室閉講式並びに交通安全大学の修了式を併せて行いました。



▲佐藤利雄教育委員長の話しに耳を傾ける教室生

### 町民講座を開催

#### ◆家庭電気教室

一月三十一日から二月二十八日まで五回にわたり電気の基礎から始まり電気製品の上手な使い方についての講習会が開催されました。

#### ◆家庭看護教室

二月五日、二十六日の二回にわたり、日本赤十字県支社の加藤静子家庭看護教師を迎え「幼児の看護」及び「老人の看護」についての講習会が開催されました。



▲好評だった家庭電気教室



▲熱心に話しを聞く参加者の皆さん

### 藤田Aチームが優勝

#### 町民卓球大会

三月九日、町民体育館で、町民卓球大会が開かれ、トーナメント方式で、団体戦と個人戦が行われました。

団体戦（一般四名、女子または三十五歳以上の男子二名のチーム六名編成）には、町内各地区から七チームの出場がありました。また、個人戦には四十五名の出場があり、一般男子の部、壮年、女子の部に分かれて対戦、白球を打つ音が冬の体育館内に響く中、熱戦を繰り広げ

### 宮町クラブが二連覇

#### 家庭バレー大会

町長杯争奪家庭バレーボール大会が、三月二日（日）町体育館で開かれ、各地区から八チーム（八十五名）が参加、トーナメント方式で試合が行われました。冬期間はどうしても練習不足になりがちですが、練習不足を感じさせない好プレー、ハッスルプレーを展開し、館内は気合でいっぱいでした。

優勝 成績は次のとおり  
優勝 宮町クラブ

ました。また、今大会は、ウーマンパワーが目につきました。

#### ◇団体戦

- 優勝 藤田Aチーム
- 準優勝 徳北Aチーム
- 第三位 徳北Bチーム

#### ◇個人戦（一般の部）

- 優勝 阿部博（大木戸）
- 準優勝 八巻隆（森江野）
- 第三位 斎藤弘（山崎）
- 第三位 渡辺一郎（森江野）

#### （壮年・女子の部）

- 優勝 斎藤ハツ子（藤田）
- 準優勝 吉田貞男（藤田）
- 第三位 宇佐美京子（山崎）
- 第三位 奥山隆夫（藤田）

- 準優勝 耕谷クラブ
- 第三位 小坂クラブ



▲熱戦を繰り広げた家庭バレーボール大会

わ  
だ  
い



### 輪 耕 会 に

### 農 林 水 産 大 臣 賞

二月二十七日から三月一日まで東京の国立オリンピック記念総合センターで開かれた「全国青年農業者会議」の席上、昭和六十年年度農村青少年模範農業研究集団表彰が行われ、輪耕会が栄えある農林水産大臣賞を受賞しました。

この賞は、全国で二十四団体に贈られましたが、輪耕会は転作大豆の技術実証、小麦を組み合わせた転作体系の確立のプロジェクト、また、モモの有袋栽培、リンゴのワイ化栽培など、地域における果樹の新技術導入にも積極的に取り組んだ功績が認められ、県内では誰一の表彰となったものです。

三月五日、町長室で伝達式が行われ、菊地町長から記念品として賞状額と金一封が後藤寿彦会長へ手渡されました。

後藤さんは「昨年の果農業賞

に続き、今回の受賞と大変うれしく思っています。今後も、地域農業技術の発展のため、会員一同力を合わせて頑張っていきたいと思います」と受賞の喜びを語ってくれました。



▲菊地町長から後藤会長の手に賞状が手渡される

### 新 入 学 児 童 を 交 通 事 故 か ら 守 ろ う !!

### 新 入 学 児 童 保 護 者 懇 談 会 が 開 か れ る

入学式を一月後に控えた三月五日、藤田小学校では、新入学児童をおもちの保護者懇談会が開催されました。

交通安全対策協議会では、その機会を利用して、新入学児童を交通事故から守るため、初めての試みとして、桑折警察署の渡辺交通係長を講師に迎え、講演

会を開きました。

また、藤田交通安全母の会会長の斎藤トサ子さんから「大切なお子さんを交通事故から守るよう街頭活動などに協力願います」とあいさつがありました。

出席した九十四名の新入学児童のお母さんたちは、真剣に話に聞き入っていました。

新入学児童の皆さん、桜咲く入学式までに、交通ルールを身につけ、元気に登校してください。



▲熱心に講話を聞くお母さんたち

### 農 業 情 勢 懇 談 会 が 開 か れ る

二月二十日、国見町農業青年会議所（松浦万助会長）では、輪耕会と共催で、農協会館で農

業情勢懇談会を開きました。

午後五時三十分から、町の吉田産業課長から「国見町における農業の現状と振興計画について」の講演を聞き、また、農協の佐藤参事、阿部園芸課長から「これからの農業と農協の対応について」の説明を受けました。

続いて質疑応答に入り、会員の人たちから建設的な意見が出され、和気あいあいの内に九時三十分に関会しました。

農業青年会議所は、昭和四十九年に発足し、会員は現在二十名。農業の将来に期待をかけ、経営の改善と生産技術の向上のために研さんを積んでいる青年農業者には、町の緑化事業に協力して、林道南半田・赤坂線に桜

の苗木を植樹しました。

※農業青年会議所では、会員を募集しています。農業に意欲をもって取り組んでいる青年のみなさんの加入をお待ちしています。申し込みは国見町農業委員会事務局 ☎ 卒一三二二（内線六九） 有線四六四まで。

### 編 集 日 記

○日一日と暖かくなり、春の訪れを感じられるようになりました。先ごろ、桜の開花予想が出されましたが、例年より少し遅くなるとのことで、四月下旬頃になりそうです。

○表紙の花シリーズも、今月で一年を迎え、一くぎりとなりましたが、私たちの身近でよく見かける花や、山などに入らないとなかなか見つけられない花などどうにかこの一年間続けることができ、ホッとしているところです。

○花は、季節の移り変わりを教えてくれ、心の安らぎを与えてくれます。近年、野の花が少なくなってきましたが、道端にも、ちょっと目をこらすと、いろいろな花が咲いています。何かと気ぜわしい生活を送っている私たちが、花を愛でる。そんな心のゆとりがほしいものです。

S



▲活発な意見が交わされた懇談会